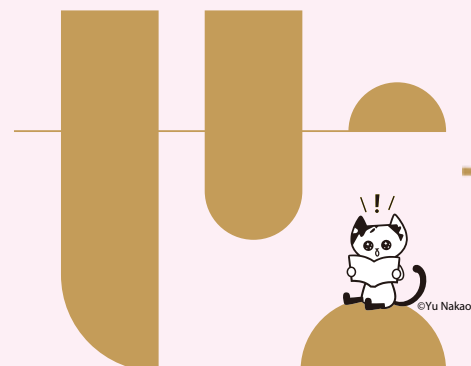


堂々完結!



シリーズ

世界を読み解く 一冊の本



世界の名著を深ボリ、深ヨミ

慶應義塾大学出版会



せかよむ★キャット
あたまの模様は世界地図。
好奇心にみちあふれたキラめく瞳で
今日も古今東西の本をよみあさる!



装丁：岡部正裕 (voids)
仕様：四六判上製
頁数：208～256頁

◎お申込み方法

お申込書にご記入の上、お近くの書店にお持ちください。
お近くに書店がない場合には、下記の弊社営業部に直接お申込みください。
また、弊社ホームページ上でもお申込みいただけます。 <http://www.keio-up.co.jp/>

書店名 [この欄は書店が使用します。]	タイトル	ISBN	定価	冊数
	大槻文彦『言海』——辞書と日本の近代	978-4-7664-2554-3	2,200円	[]冊
	『クルアーン』——神の言葉を誰が聞くのか	978-4-7664-2555-0	2,420円	[]冊
	『西遊記』——妖怪たちのカーニバル	978-4-7664-2556-7	2,200円	[]冊
	オーウェル『一九八四年』 ——ディストピアを生き抜くために	978-4-7664-2557-4	2,420円	[]冊
	『百科全書』——世界を書き換えた百科事典	978-4-7664-2558-1	2,640円	[]冊
	エーコ『薔薇の名前』 ——迷宮をめぐる〈はてしない物語〉	978-4-7664-2559-8	2,640円	[]冊
	チョーサー『カンタベリー物語』 ——ジャンルをめぐる冒険	978-4-7664-2560-4	2,640円	[]冊
	空海『三教指帰』 ——桓武天皇への必死の諫言	978-4-7664-2561-1	2,640円	[]冊
	ポルヘス『伝奇集』——迷宮の夢見る虎	978-4-7664-2562-8	2,200円	[]冊
	『旧約聖書』——〈戦い〉の書物	978-4-7664-2563-5	2,640円	[]冊
全10巻			定価合計 24,640円 []セット	
お申込み書				
お名前				
ご住所				
お電話				
E-mailアドレス				

お申込書にご記入いただきました個人情報は、ご注文の書籍の発送およびご連絡のみに使用します。

◎お取り扱い

慶應義塾大学出版会

〒108-8346 東京都港区三田2-19-30
TEL 03-3451-3584 / FAX 03-3451-3122

<http://www.keio-up.co.jp/>

「世界を読み解く一冊の本」特設サイト
<http://www.keio-up.co.jp/sekayomu/>



本シリーズについて

「書物は一つの宇宙である。世界は一冊の書物である」をキーワードに、『大槻文彦』言海』から刊行が開始された本シリーズも、遂に『空海』三教指帰』『オーウェル』一九八四年』の同時刊行をもって完結いたします。

人類は、世界の真理を収めるような器としての書物を多数生み出し、時代や文化の違いを超えて脈々と読み継いできました。本シリーズでは〈世界〉を規定し、人々の生き方を示す宗教書や、言葉を整理し〈世界〉の見方を示す辞典、〈世界〉を知の迷宮へと誘う奇書、知へのアクセスを制限し〈世界〉を限定する焚書など、世界の名著のなかでも、とりわけ「本について問題提起をする本」をテーマに、古今東西の古典・新古典を、書物史、文学研究、思想史、文化史などの第一人者が、縦横無尽に読み解いて参りました。

時に、聖典として崇められ、時に、焚書や発禁をうけた書物の運命は、つねに私たち人間とともにありました。私たちにとって、本とはいったい何なのでしょう？ 今後、本はどのような運命を辿っていくのでしょうか？ その問いを、〈世界を読み解く一冊の本〉をひもとくことによって一緒に考えてみませんか。

シリーズ特色

- 1 古今東西の古典・新古典を、もっとおもしろく、深よみ・深ぼりする。
- 2 人々の生き方を示す宗教書から、知の迷宮へと誘う奇書、時代に警鐘をならすディストピア小説まで、「本について問題提起をする」今読むべきベストセラー 10 作を厳選。
- 3 名著が〈世界〉や人をどう描き、現代にどんなメッセージを発しているのか、第一線・気鋭の執筆陣が、縦横無尽にわかりやすく読み解く。
- 4 名著がどのように成立し、読み継がれるようになったのかを、書物文化史の観点から辿る。

大槻文彦『言海』

辞書と日本の近代

安田敏朗 [著]



国語学者、大槻文彦が明治期に編纂した日本初の近代的国語辞典『言海』。大槻は「言海」を通して世界をどのように切りわけようとしたのか。辞書が社会的に果たした役割とともに描き出す。

『言海』二八九年刊行(日本) 定価2200円

『クルアーン』

神の言葉を誰が聞くのか

大川玲子 [著]



極めて難解とされるイスラームの聖典『クルアーン』。ではどう読めばよいのか？ 聖典を読む困難と楽しさを、丁寧に解説。信徒のみならず、人類にとっての「聖典」となる可能性を問う。

『クルアーン』七世紀成立(アラビア半島) 定価2420円

『西遊記』

妖怪たちのカーニヴァル

武田雅哉 [著]



映画やマンガにリメイクされつづける『西遊記』は子ども向けの本ではない？ 中国の誇る〈神怪小説〉のなりたちと伝播を、妖怪たちの目線から語りつくす。

『西遊記』一六世紀成立(中国) 定価2200円

オーウェル『一九八四年』

ディストピアを生き抜くために

川端康雄 [著]



全体主義国家によって分割統治された近未来世界を描く、世界的ベストセラー。「ポスト真実」の時代を先取りしたディストピア小説の世界を探る。

『一九八四年』一九四九年刊行(イギリス) 定価2420円

『百科全書』

世界を書き換えた百科事典

井田尚 [著]



啓蒙の世紀を象徴するフランス初の本格的百科事典は、どのように編まれたのか。森羅万象を体系的かつ批判的に記述しようとした壮大な試みを明らかにする。

『百科全書』一七五二〜七二年刊行(フランス) 定価2640円

エーコ『薔薇の名前』

迷宮をめぐる(はてしない物語)

凶師宣忠 [著]



記号論の大家エーコによる問題小説。中世イタリアの修道院で起きる連続殺人事件の謎と迷宮構造の文書館に収められた一冊の書物の存在をめぐる遠大な物語世界にエーコがしかけた知のたくらみを繙く。

『薔薇の名前』一九八〇年刊行(イタリア) 定価2640円

チョーサー『カンタベリー物語』

ジャンルをめぐる冒険

松田隆美 [著]



英文学の礎を築いた「英詩の父」チョーサー。多種多様なジャンルを革新的に問い直し、物語文学の枠組みを拡張した、中世を代表する傑作のダイナミズムを描く。

『カンタベリー物語』一三八八年頃〜一四〇〇年制作(イギリス) 定価2640円

空海『三教指帰』

桓武天皇への必死の諫言

藤井淳 [著]



空海が二十四歳のときに物した出家宣言書。仏教・儒教・道教をめぐる対話が戯曲形式で繰り広げられる本書の中に、希代の専制君主桓武天皇に対する憤りと祖先への誇りに引き裂かれた若き空海の出発点を探る。

『三教指帰』七九七年成立(日本) 定価2640円

ボルヘス『伝奇集』

迷宮の夢見る虎

今福龍太 [著]



幻想小説の巨匠ボルヘスによる「パベルの図書館」「八岐の團」「死とコンパス」など名作一七篇を収録した短編集。現実と虚構の境界を往来する、書物という迷宮を、ボルヘスと共に、ボルヘスになり切って読み解く。

『伝奇集』一九四四年刊行(アルゼンチン) 定価2200円

『旧約聖書』

〈戦い〉の書物

長谷川修一 [著]



旧約聖書はいかにして生まれたのか。なぜそれは人類のベストセラーとなりえたのか。旧約聖書形成の背後に潜む激動の歴史と対比させつつ、著者たちが繰り広げた思想史上の戦いを追いかける。

『旧約聖書』二世紀成立(イスラエル) 定価2640円